

は100店舗5,000人以上の大きなイベントに成長した。確実に認知度も上がり、「次回も参加したい!」という嬉しい声も頂けると言う。飲食店にとってはお店をアピールする絶好の機会であり、参加者からしても普段入りづらいお店にチケット1枚で気軽に行けて楽しめる好評だ。「飲食店のみのイベントではなく、多くの団体や企業が参画するようになってその輪が広がっています。」種のお祭りとして気軽に参加して頂きたいです。そして、豊橋駅前のポテンシャルの高さをTOYOはしごナイトで感じてく

“まちづくり活動がひとつの文化として根付いてくれると嬉しいです”

ラブポートタウン実行委員会



1.毎年参加店舗数が増え、昨年は5,500人の参加者を迎えた。昨年から一部交通機関でチケットの利用が可能に。更に電子マネーやイープラスでの購入も◎ 3.チケット1枚につき、お店の自慢の料理1品とドリンク1杯が楽しめる



PROFILE

ラブポートタウン実行委員会

国際貿易港である「豊橋港」を軸に、まちの魅力を発信することを考案。翌年、この構想に賛同した有志により発足され、「オクトーバーフェスト」をはじめ、様々な分野で魅力的なまちとなることを目的とし活動する。



PEOPLE CREATE OUR TOWN

まちをつくるひと

まちづくり事業から始まり、今年で7回目を迎える「TOYOはしごナイト」。実行委員が思い描くまちの姿に迫ります。

Cooperation / 株式会社豊橋まちなか活性化センター
Photographer / Kanae Tahara Writer / Yui Natsume



平日の夜に駅前が賑わう参加者主導のまちづくり
2008年、公益社団法人豊橋青年会議所が行ったまちづくり事業から始まり、豊橋の魅力をどうやって内外に発信し、どうブランディングしていくかというのを考え、港を軸として豊橋の魅力を発信してきた。メンバーが次に目を向けたのが豊橋駅前であった。大きなスーパーや百貨店がなくなり、通りにはシャッターを閉めたままの店が増え、30年前と比べ、まちの中心部が空洞化しつつあるという状況から救出するための手助けをしないと考えるからだ。「まちなかを盛り上げたい」「まちの人に豊橋の魅力に気づいてほしい」「参加者全員で創り上げるイベントを開催したい」という思いから、まちに賑わいや活気をもたらすイベントとして、2010年、第1回「TOYOはしごナイト」を開催。当初は40店舗1,000人程度の参加規模だったイベントが、回数を重ねるにつれて盛り上がり、今で